

甲子園をめざす高校野球沖縄大会に影響を及ぼす
女性遺体遺棄事件に対する県民大会の会場変更等を求める意見書

県内の高校球児の夢や目標である甲子園をめざす沖縄県大会が平成28年6月18日（土）から7月17日（日）までの間、県内4会場で開催されます。

選手や監督を初め、指導者及び父母にとっては高校野球の集大成であると同時に、県民も球児たちと共に夢を追い、沖縄県を挙げて活躍を期待するものである。更に、沖縄セルラースタジアム那覇は高校球児の聖地でもあり、この場所で一度でも試合を行いたい夢の球場でもあります。

しかしながら、既に予定されていた高校球児の夢を反故にして、一民間団体の要請を最優先にした事は、公共施設の管理運営上、大きな問題であると認識している。この事によって、沖縄セルラースタジアム那覇で予定されていた試合を他球場に変更を余儀なくされる状況になった。

沖縄県高等学校野球連盟も大会に賛同しているとの報道だが、その趣旨の大会には、県民や多くの団体も賛同する事はごく当たり前のことであります。

残虐な事件に対する抗議の県民大会を開催することは当然であるが、しかしながら、この県民大会は趣旨、日時、場所等を十分に検討し、多くの県民が参加できる大会にするべきである。

よって、うるま市議会は今回のように、甲子園をめざす高校球児に影響を及ぼさない会場や日時等について、支障なく大会が開催される事を下記の通り強く要請する。

記

1、県民大会の会場変更

平成28年6月13日

沖縄県うるま市議会

あて先

沖縄県知事 沖縄県教育長 那覇市長